

6月は「いじめ撲滅月間」です

福岡県PTA連合会、そして小郡市では、6月を「いじめ撲滅月間」として、子どもの健全育成を目指して取組を行っています。本校でも、「いじめ」防止の基本方針を定めて、具体的な取組を進めています。毎月の生活アンケートや6月の子ども教育相談もその取組の一つとして実施しています。

(6月2日～8日が、子ども教育相談週間になり、下校時刻が変更になっています。)

- いじめは、人として許されない
- どの学級、どの子にも起こりうる
- いじめは、気付きにくいところで行われる



この認識に基づき、楽しい学級・分かる授業づくりで未然防止を図りながら、学年として複数の眼で日頃からアンテナを張って、早期発見・早期対応に努めていきます。

ご家庭でも、お子さんの言動で気になることがありましたら、学校までご連絡ください。

土曜授業 ～授業参観、地区懇談会、引き渡し訓練～ ご参加ありがとうございました

5月30日(土)に、土曜授業を実施しました。集団登校では、安全マップを確認しながら、危険箇所等を確認していただきました。特に1年生の保護者の皆様は、毎日登校している通学路の様子や歩く速さなどを確認する機会となったと思います。

授業参観では、各学年「安全」に関する内容の授業を公開いたしました。子どもたちの学習の様子はいかがだったでしょうか。6年生は、三井消防署の救命救急士の方に来ていただき、親子で心肺蘇生法を学びました。

地区懇談会では、区長さんや公民館長さん、民生児童委員さんにも来ていただき、地域や通学路の安全面や防犯面について、熱心に協議いただきました。地区委員さんのリードの下、拡大した地図に危険箇所を書き込んだりしながら、お互いに共通理解する場となったと思います。

地区委員の皆様には、地区懇談会の準備、打ち合わせ、当日の進行など大変お世話かけました。ありがとうございました。

引き渡し訓練では、引き渡しカードと照合しながら、児童の引き渡しを行いました。今回は地震を想定した引き渡しのため、運動場で行いました。

間もなく、梅雨入りの時期となります。また、各地で大きな地震が頻繁に起きています。今回の訓練を生かして、子どもたちの安全確保に努めてまいります。土曜授業のご参加、ありがとうございました。

人権を考える日の取組

5月22日(金)に人権を考える日の取組を実施しました。人権を考える日は、自分や友達を大切にできているか、みんなが安心して生活することができているか、私たち教師も、集団や自分の実践を見直す日です。各学級で、子どもたちに考えさせたい教材を使って、自分や友達との関わり方や、ものごとを正しく知ることの大切さ等を考えました。

1年生では、【いま どんな きもち】の教材を使って、笑顔や悲しそうな顔の表情からどんな気持ちか想像し、このごろあった自分の気持ちを一つ選んで、それを言葉で伝え合おうとする大切さを学びました。

2年生では、【いいとこ みつけ】の教材を通して、ひとは誰でもいいところもあること、自分や友達のいいところをたくさん見つけていくことの大切さを学びました。

3年生【みんなとなかよくしたいのに】の教材を使って、自分の好きなことや苦手なことを見つけ、周りの友達がどんな気持ちで過ごしているのかを想像することで、安心してすごせるクラスになることを考えました。

4年生では、【どうしたらいいんだろう】の教材から、友達に対する自分の接し方を振り返って、おかしいと思うことを伝えあったり、よりよいクラスをつくっていくために大切なことを話し合いました。

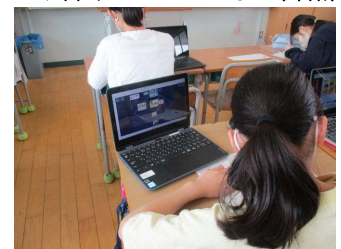
5年生では、【どんな仲間だったのか】の教材から、おかしいことを指摘し合ったり、困っているときに自然と助け合える関係をつくるためにどうしたらよいか考えました。

6年生では、【権利の熱気球】の教材から、タブレットを活用して、自分にとって必要な権利を選ぶ活動を行い、生きる上で大切な権利があること、人それぞれに大事にしていることに違いがあることなどに気付いていきました。

この日だけの取組ではなく、日々の教育実践に生かしていきます。



【2年生の授業の様子】



【6年生の授業の様子】

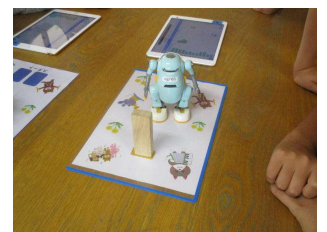
地域のみなさまのご支援、ご協力に感謝いたします

5年生は、総合的な学習の時間で米作りに挑戦します。5月27日に、地域の方に指導を受けながら、種もみまきをしました。

この後、6月には田植えを行い、10月の稲刈りと続きます。子どもたちにとって、大変貴重な体験となります。これからも、どうぞご指導よろしくお願いいたします。

さらに、5年生は株式会社リビングロボットさんをゲストティーチャーに迎え、プログラミング学習を行いました。「あるくメカトロウィーゴ」という動くロボットを使って、実際にロボットへ様々な動きのプログラミングを子どもたちは体験しました。子どもたちは、動くロボットに感動していました。そして、思うように動かない時には、友達と考え、何度もやり直して、プログラミングを試していました。

このように、試行錯誤しながら考える力をつけることが、プログラミング学習のねらいです。



【動くロボット】

また、3年生では、社会科や総合的な学習で小郡市や校区の学習をしています。埋蔵文化財調査センターの職員の方にゲストティーチャーとして来ていただき、小郡市の土地利用の様子や市役所の役割などについて、わかりやすく教えていただきました。

地域の方々に、より専門的な立場から学習を支援していただくことによって、子どもたちの学びをさらに深めることにつながっています。これからもよろしくお願いします。